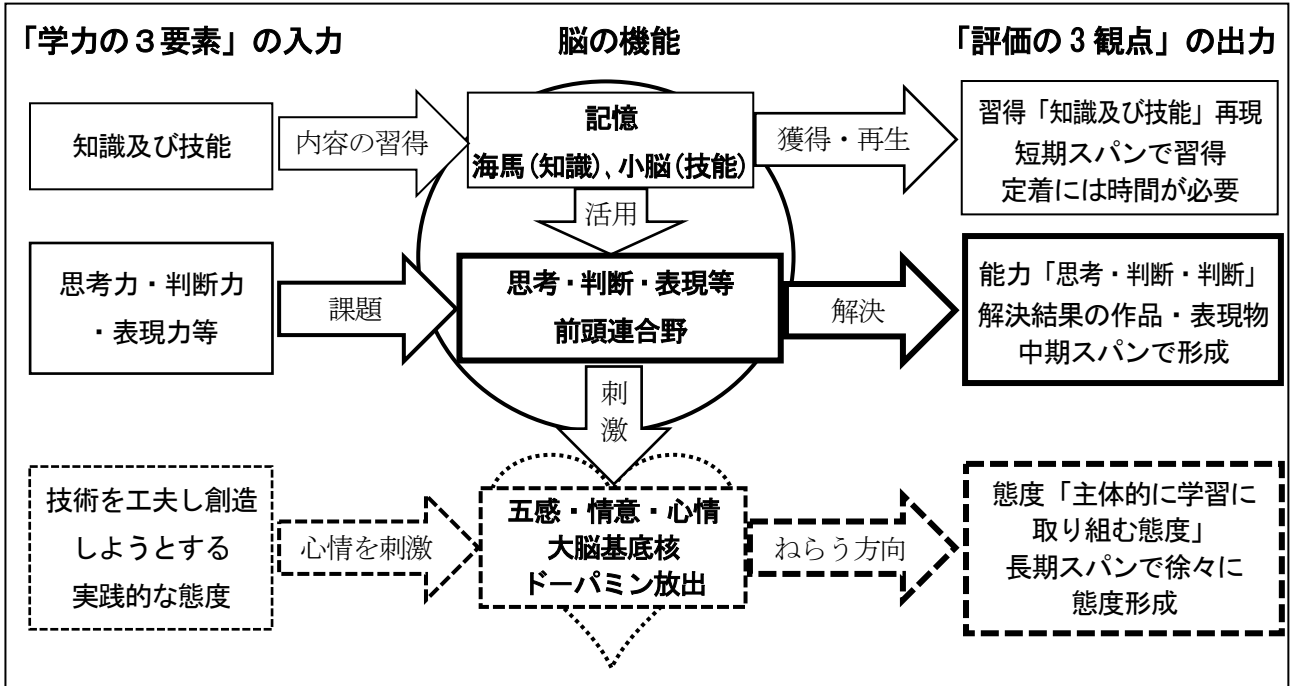


<804> 「学力の3要素」で「脳の機能」を上手に生かすコツとは？

「学力の3要素」により、次の資料に示すように、使う脳の機能が異なります。従って、学習指導は、脳の機能が充分発揮できるよう、「学力の3要素」により、その方法を工夫するのがコツになります。脳の機能を押さえて、「学力の3要素」を見直してはいかががでしょうか？

なお、参考資料に「学力の3要素」と脳の領域との関係を示してみます。

資料：脳の機能と「学力の3要素」（「評価の3観点」）との関係



参考資料：「学力の3要素」と脳の領域

「学力の3要素」	脳の領域	領域の目標	学力の特性
知識及び技能	認知領域や精神運動領域の低次	達成(習得)目標 行動目標化しやすい	○頭脳での、認知的な記憶、知識、理解 ○身体の動きを伴う、運動技能的な記憶や知識
思考力・判断力・表現力等	認知領域と精神運動領域の高次	解決(探究)目標 行動目標化しにくい場合あり	○頭脳で事態を分析し既有知識等を総合する思考力・判断力 ○身体の動きを伴う、技能や知識や経験等を総合し、構想等を具体化する思考判断力
技術を工夫し創造しようとする実践的な態度	情意領域	方向目標 行動目標化しにくい	○心的・行動的な傾向 ○知識・技能・思考の方向を規定する心的傾向 ○知的好奇心(特殊的好奇心) ○価値観、心情や気持ちの方向性、関心の広がり・高まり・深まり、心情が表出した態度・行動